



市内外からたくさんの買い物客が訪れました

宇城市物産展「食とモノの祭典」

第3回宇城市物産展「食とモノの祭典」が、10月27日～28日にかけて、小川町のイオンモール宇城バリュー駐車場であり、多くの人出でにぎわいました。

晴天にも恵まれた会場には、市内の約70団体が出店。市内の農産物、海産物などの特産品や工芸品、花などが並び、市価よりも安く販売されました。開場とともに家族連れなど多くのグループが来場し、花苗をまとめ買いをしたり、海産物を使った食物をほおぼったりする姿が見られました。

特設ステージでは、そっくりショーや新米すくい大会、マジックショーや市出身の歌手・際田まみさんのライブショーがあり、会場を沸かせました。

女性消防軽可搬ポンプ操法大会

第2回宇城地区女性消防軽可搬ポンプ操法大会が10月21日、松橋町の豊福グラウンドでありました。女性消防隊の技術向上と士気の高揚を図るなどを目的に宇城広域消防連絡協議会が昨年開いています。

宇城市、宇土市、城南町、美里町から5チームが参加。その内、宇城市からは豊野女性部と不知火女性部が出場しました。選手たちは、会場に駆けつけた家族らの声援を受けて健闘。気合のこもった号令とともにホース延長や放水など一連の動作を機敏に行い、これまで厳しい訓練の中で積み重ねてきた成果を力いっぱい披露しました。

豊野・不知火女性部は、惜しくも優勝を逃しましたが、高い技術と安定した操法を見せ感動を与えました。



より正確に！より迅速に！

第17回松橋町特産品フェア



多くの人出でにぎわった会場

10月20日～21日、宇城市（松橋）保健福祉センターで第17回松橋町特産品フェアが開催され、多くの人出でにぎわいました。

旧松橋町時代から続くこの催し物は、松橋町特産の農作物・花・工芸品・加工食品などが並ぶため、お目当ての品を楽しみに来場する固定客も増えつつあります。今回は、チョンカケコマ無料教室や竹とんぼ作り教室などもあったため、子ども連れの姿も多く見られました。



あいさつするオランダ総領事館領事の
オッテリア・フロームさん

120 三角西港を世界遺産に 年記念式典とシンポジウム

10月21日、台風で延期になっていた三角西港120年記念式典とシンポジウムが開催されました。爽やかな秋空の下、浦島屋前広場で行われた記念式典ではオランダ総領事館領事のオッテリア・フロームさんが「オランダの土木技術が長く大切にされていることを光栄に思います」などとあいさつ。三角西港功労者の表彰や、世界遺産登録を目指した「三角西港宣言」の発表も行われました。

午後から三角センターで行われたシンポジウムでは、オフィスフィールドノート代表・砂田光紀さんによる「映像による九州・山口の近代化遺産紹介」や都市経済評論家・加藤康子さんによる「九州・山口近代化産業遺産を世界遺産に！」の基調講演の後、岡田保良国土館大学教授など5人のシンポジストによる「三角西港を世界遺産に！」をテーマとしたシンポジウムが行われました。

農地・水・環境保全向上対策事業

10月21日、戸馳地域資源保全隊の「農地・水・環境保全向上対策事業」の一環で戸馳子ども会の児童と保護者約40人が旧戸馳小学校で環境問題について学習し、EM団子を作りました（共催：三角町土地改良区）。

青木スミエさん（クリーン帯山・熊本市）ら3人が講師を務め、生活廃水が自然環境に悪影響を及ぼしていること、EM菌は江津湖や学校プールなどの



親子で団子作り、楽しそう！

浄化に実績を上げていることなどを学び、土にEM菌の入ったボカシを混ぜ込みEM団子約800個を作りました。そして、3週間後、このだんごを農業用水の水質浄化のために水路に入れました。

いきいき健康！ 高齢者健康づくり交流事業



うきうき体操に挑戦

9月11日～11月7日、「平成19年度高齢者健康づくり交流事業」(全24回)が不知火温泉センターで開催されました。これは、70歳以上の高齢者が健康・生きがいづくりについて学び、昼食・温泉などでリフレッシュしつつ交流するという事業で、昨年に引き続き2年目の開催となります。

10月4日は、三角町の戸馳・群浦地区の高齢者35人が参加し、保健師の指導で「だ液腺のマッサージ」や「うきうき体操」などにチャレンジしました。脳の活性化に役立つという軽運動ゲームでは、笑顔と笑い声の中、頭をひねりながら左右の手を動かす参加者の姿が見受けられました。